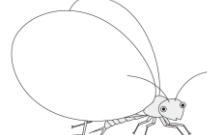


シアタータイム

導入	<ul style="list-style-type: none"> 講:「今の季節は秋だね。たくさん虫が鳴いてるけど、どんな秋の虫を知ってる?」と、秋の虫の名前を話題に出し「ちんちろちんちろ(松虫)」「りんりん(鈴虫)」「ころころりりり(こおろぎ)」等いくつか虫の鳴き声の真似をする。「でも、このお友達は鳴かないの。なんでだろう?」とお話を始める。 	<p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ★絵本 ★iPad(シアターセット) 	
読み方	<ul style="list-style-type: none"> ①「ちいさなはねをこし・こし・こしでもあららおとがでないようたえない」の繰り返しのフレーズ部分は子ども達と手を擦りながら、印象に残るように工夫して読む。 ②「おはよう」「こんにちは」「ごきげんよう」「きもちのいいゆうがたですね」「こんばんは」など、虫たちの挨拶のことばを通して時間の流れが感じ取れるように表現する。 ③登場する色々な虫達の発する音に注目。最後のコオロギの鳴き声がする場面は、静かな雰囲気を作ったあとにページを開く。 	<p>保育士の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども達と一緒にになってお話を楽しむ 	

がくしゅうタイム

活動①	ねらい	制作	演奏会に期待を持ち、コオロギに羽カードを貼って完成させることができる	
設問			コオロギさんに羽を貼って音が出るようにしてあげましょう	<p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> コオロギ台紙 1人1枚
つなぎ			<ul style="list-style-type: none"> 講:「虫がたくさん出てきたね。どんな音がした?」「コオロギさんも綺麗に歌えてよかったです!今日はコオロギさんのお友達を連れて来たの」コオロギを提示。「いい? 良く聞いててね!」と割りばしを使って羽の音を聞かせる。 講:「今日はコオロギさんと演奏会しようか?」と子ども達のやる気を誘う。 保:「ぼく達も演奏したい!」と配布用のコオロギ台紙を見せる。 講:台紙を受け取り「良いよ!でも何だか変だね?何か足りないね?」提示用と比較して羽の無いことに気付かせる。「羽が無いとどうなる?」と問い合わせ「音が出ない、歌えない」ことを確認する。 保:「いらっしゃいませ、素敵なお出る羽はいりませんか~」割りばしで羽の音を鳴らしながら羽屋さんになって登場。 講:「すみません。素敵なお出る羽ください」 保:「おはじき4個と交換です」 	<p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> コオロギ台紙 1人1枚 羽カード(両面テープ付) 1人1枚 アクリルコード 1人1本 提示用セット <p>※提示用に完成させておく ・おはじき・皿</p>
活動内容			<p>数にチャレンジ</p> <ul style="list-style-type: none"> 講: 多数のおはじきの中から「4個」取り「ください・ありがとう」の会話と共に「羽カード」と交換する見本行動を見せる。 <p>※子ども達と一緒に数えながら「1・2・3・4(ストップ) 全部で4」全体数も確認する。</p> <p>「先生、羽を直してみるね」と見本行動。コオロギ台紙の上で羽カードをクルクル回して「ピッタんこ」と合わせ両面テープを剥がして貼ってみせる。(ゴミは皿の中) 完成したコオロギ台紙を持って「どんな音するかな?聞いてね」と羽の上から下へ割りばしを動かし音を出す。</p> <p>「でもまだこんなにたくさん」と配布用コオロギ台紙を見せて「みんなもできるかな?」と意欲を引出しこオロギ台紙を配布する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 子:おはじきを「4個」数えて取り、羽カードと交換。台紙に貼って完成させる。 ※羽カードの上下の形の違いを意識できる子はぴったりになるよう回して貼る。気付けない子は「だいたいぴったり」に貼れていれば良い。 講:みんなで完成を確認して称賛。「コオロギさんと一緒に演奏会しようか」とアクリルコード提示。台紙の穴に通して紐を結び(結ぶのは補助あり)、首にかけて音を出す見本を見せる。 保:アクリルコード配布。 講:「穴に通せたら『できました』って教えてね」 講保:できた子から紐を結んでいく。 ※このまま<活動②>へ進む。 	<p>保育士の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> 羽屋さんになって登場 「4個」のおはじきと羽カードを交換 台紙配布 理解できない子のフォロー アクリルコード配布 アクリルコードを結ぶ 割りばし配布

活動②	表現	完成したコオロギの羽を使って音を出して楽しむことができる	実物参照
設問	コオロギさんと一緒に演奏会をしましょう		

つまき	<ul style="list-style-type: none"> 講：「どんな音が出るのかな？みんなで羽の音鳴らしてみようか？」 保：「これを使ってみてください」と割りばし提示。 講：割りばしの使い方の注意 <ul style="list-style-type: none"> ①走らない ②人に向けない ③音を出す時は強く叩かない 以上の約束を確認し、割りばしを配布する。 ※割りばしを割りそうな子がいる場合は、セロテープで予め留めておく。 子：割りばしを受け取り、台紙を首から下げる音を出してみる。 講保：危険がないように台紙がきちんと首から下がっているか確認する。 講：「みんなで演奏会をしましょう！」と誘い掛け、子ども達と一緒にリズムを奏でて演奏会を楽しむ。 子：その場で席を立ち（椅子の後ろで良い）整列、講師と一緒に♪リズムに合わせて演奏会を楽しむ。 ※パレット保育園限定：4才9月うたあそびの中の「♪むしのこえ」の音源を使って演奏会をしても良い。 ※学習タイム終了後も保育の中に取り入れて楽しめると尚良い。 みんなで素敵なおもいでを奏でられたことを称賛し活動を終了する。 	教材 <ul style="list-style-type: none"> 活動①で完成したコオロギカード 割りばし 1人1膳 保育士の役割 <ul style="list-style-type: none"> 割りばしの提示 安全確認 エレピ演奏 称賛 必要に応じて台紙、割りばし回収

数チャレ	ねらい	数	多数のおはじきの中から「4個」のおはじきを取ることができる	教材
設問	おはじきを「4個」取り、音の出る羽と交換しましょう			
内	※<活動①>の中で実施します。			保育士の役割

■出来たかな表

【活動内容】	【ポイント】
シアター	「ちいさなはねをこしこしこし」の言葉の繰り返しに合わせた動作を行ったか
活動① 制作	制作を行いたくなるような雰囲気づくりを行ったか
活動② 表現	楽しく参加できるよう工夫したか、大袈裟な見本行動が出来たか
数チャレ	活動①に含む

練習タイム♪

*** テーマ・実験 ***

叩いてみよう、どんな音？

●割りばしをバチにして身近にあるものを叩いてその音の違いに興味を持って色々な音見つけを楽しんでみましょう。

●いい音の出るものを集めて、歌に合わせながら叩いてみるのも楽しいですよ。

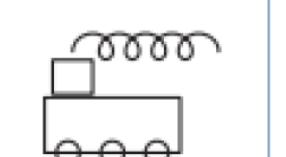
※割りばしの扱い方は
①走らない ②人に向けない ③音を出す時は強く叩かない
※叩いて良いもの悪いものなど、ルールを決めて安全に配慮して遊びを楽しめましょう。

どんな音が出るのかな？

大人も一緒にになって楽しんでみましょう。
「家族で音楽会」なんてできたら素敵です！！

今月のえかきリズム

*** きしゃ ***



えかきリズムの動画は
こちら



楽習タイムの動画は
こちら

